

HAMAMATSU

P H O T O N I S O U R B U S I N E S S

第69期 中間報告書

平成27年10月1日から平成28年3月31日まで

証券コード：6965

浜松ホトニクス株式会社



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度の平成28年熊本地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

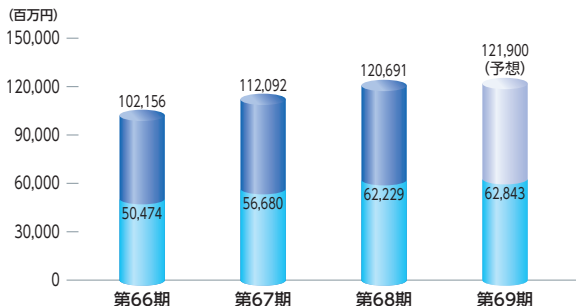
ここに、第69期中間期（平成27年10月1日から平成28年3月31日）における中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社グループを取りまく経営環境につきましては、新興国経済の減速や円高基調が企業業績に影を落とし、景気の先行きは大変厳しい状況にあると認識しております。

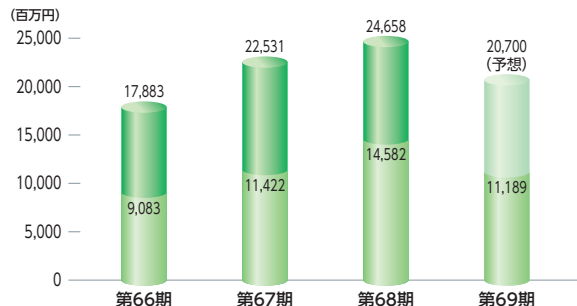
このような中、当社グループが創業以来追求している「光」は、医療、産業分野から学術研究に至るまで我々の社会を支える基盤技術となっており、近年の医療機器の高度化や電子機器の高性能化・高精度化に代表されるように、光技術の進化は最先端のテクノロジーの発展には欠かすことのできない重要な要素となっております。

連結財務ハイライト

売上高の推移



経常利益の推移



当社グループは、こうした世界規模で高まる光技術へのニーズを迅速かつ的確に把握し、外部環境の変化に柔軟に対応したソリューションをいち早くお客様に提供すべく、国内外のグループ体制の連携強化を図るとともに、将来に向けた中長期的なビジョンのもと、成長のための積極的な研究開発投資や設備投資を推し進めることで、持続的かつ安定的な高収益体制の構築を目指してまいります。

当社グループといたしましては、創業以来のベンチャー精神を忘れず、市場の要求を満足する競争力ある高付加価値製品を随時市場投入することで、光技術の世界的リーディングカンパニーとしての地位をより強固なものにしてまいいる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月

代表取締役社長
晝馬 明

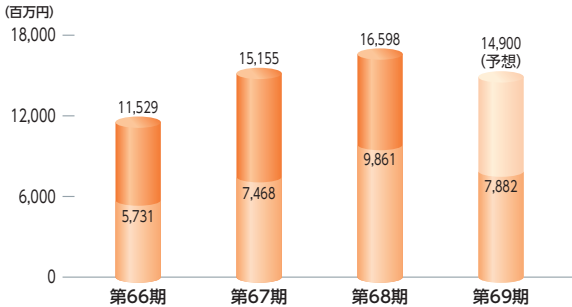
第69期中間期連結業績

売上高	62,843百万円 (前年同期比 1.0%増)
営業利益	11,101百万円 (前年同期比19.4%減)
経常利益	11,189百万円 (前年同期比23.3%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	7,882百万円 (前年同期比20.1%減)

第69期通期連結業績予想

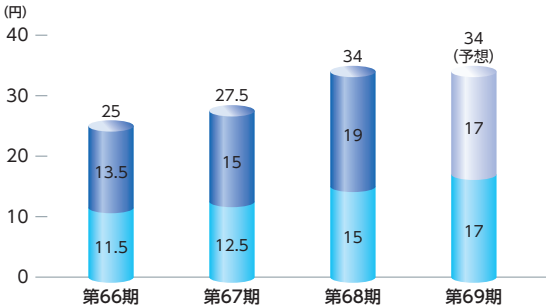
売上高	121,900百万円 (前期比 1.0%増)
営業利益	20,400百万円 (前期比13.5%減)
経常利益	20,700百万円 (前期比16.1%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	14,900百万円 (前期比10.2%減)

親会社株主に帰属する当期純利益の推移



※会社計算規則の改正により、第69期以降、従来の「当期純利益」は「親会社株主に帰属する当期純利益」となりました。

配当の推移



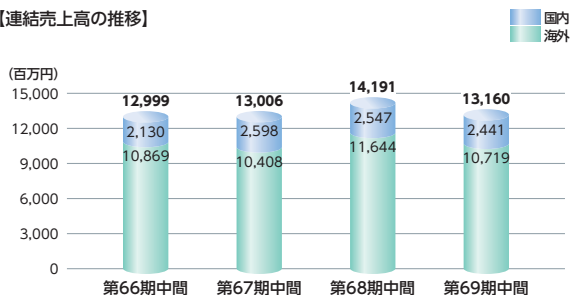
※平成27年4月1日（第68期）をもちまして、1株につき2株の割合にて株式分割を行っております。そのため、第66期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

光電子増倍管

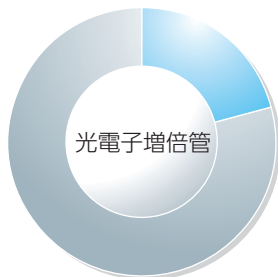
電子管事業

光電子増倍管は、海外において環境分析向けの売上げが堅調に推移いたしました。しかしながら、長引く油田開発投資の低迷により計測分野における油田探査装置向けの売上げが大幅に減少したほか、医用分野におきまして、血液分析などの検体検査装置向けの売上げが減少いたしました結果、光電子増倍管の売上げは13,160百万円と前年同期に比べ7.3%の減少となりました。

【連結売上高の推移】



▲環境分析向け光電子増倍管



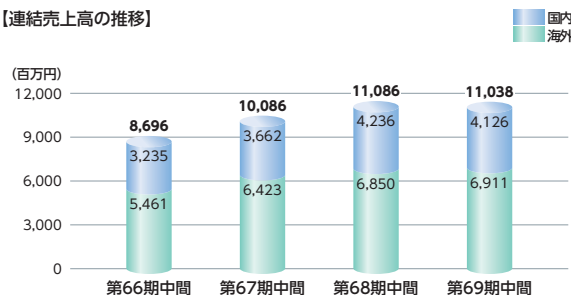
売上高比率 **20.9%**

イメージ機器及び光源

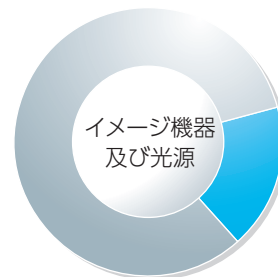
電子管事業

イメージ機器及び光源は、重水素ランプの売上げが、アジア地域における環境分析向けの需要の高まりを受けて増加したほか、産業分野におきまして、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源の売上げも堅調に推移いたしました。しかしながら、医用分野におきまして、X線画像を可視像に変換するX線シンチレータの売上げが減少いたしました結果、イメージ機器及び光源の売上げは11,038百万円と前年同期に比べ0.4%の減少となりました。

【連結売上高の推移】



▲重水素ランプ



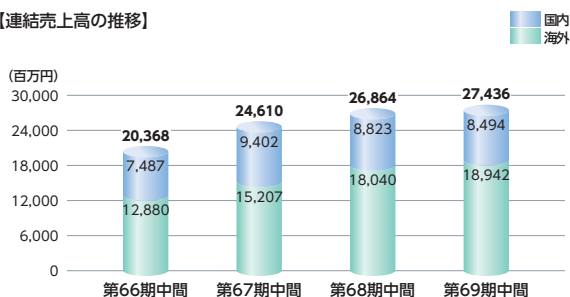
売上高比率 **17.6%**

光半導体素子

光半導体事業

光半導体素子は、医用分野におきまして、主力のシリコンフォトダイオードの売上げが、顧客ニーズに的確に对应している点などを評価され、米国における医用装置向けを中心に引続き好調に推移したほか、フラットパネルセンサも歯科用を中心に堅調に推移いたしました。また、自動車の車内ネットワーク通信用のフォトICが欧州において売上げを伸ばしたほか、手荷物検査用シリコンフォトダイオードの売上げも増加いたしました結果、光半導体素子といたしましては、27,436百万円と前年同期に比べ2.1%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲手荷物検査用シリコンフォトダイオード



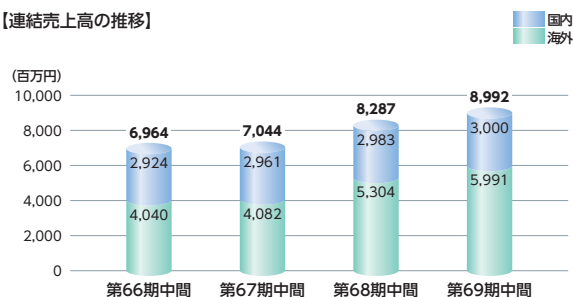
売上高比率 **43.7%**

画像処理・計測装置

画像計測機器事業

画像処理・計測装置は、半導体故障解析装置が広視野における高解像度・高感度に加え用途に合わせて多様な解析が可能な点を評価され、アジア地域を中心に売上げが大幅に増加いたしました。また、デジタルカメラも顧客ニーズに応えた高い性能・ラインナップを評価され堅調に推移いたしました。さらにX線ラインセンサカメラも食品検査用を中心に売上げを伸ばしました結果、画像処理・計測装置といたしましては、8,992百万円と前年同期に比べ8.5%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲デジタルカメラ



売上高比率 **14.3%**

当社グループでは、長年にわたり培ってきた独自の光技術を駆使し、バイオ、医療、情報、通信、エネルギー、物質、宇宙・天文、農業等の分野において、新しい知識、新しい産業の創成を目指した基礎研究を推し進めるとともに、新製品の開発及び既存製品の高機能化・高付加価値化を目指した開発を行っております。

以下に、当中間期におけるその成果の一部をご紹介します。

〔基礎研究分野〕

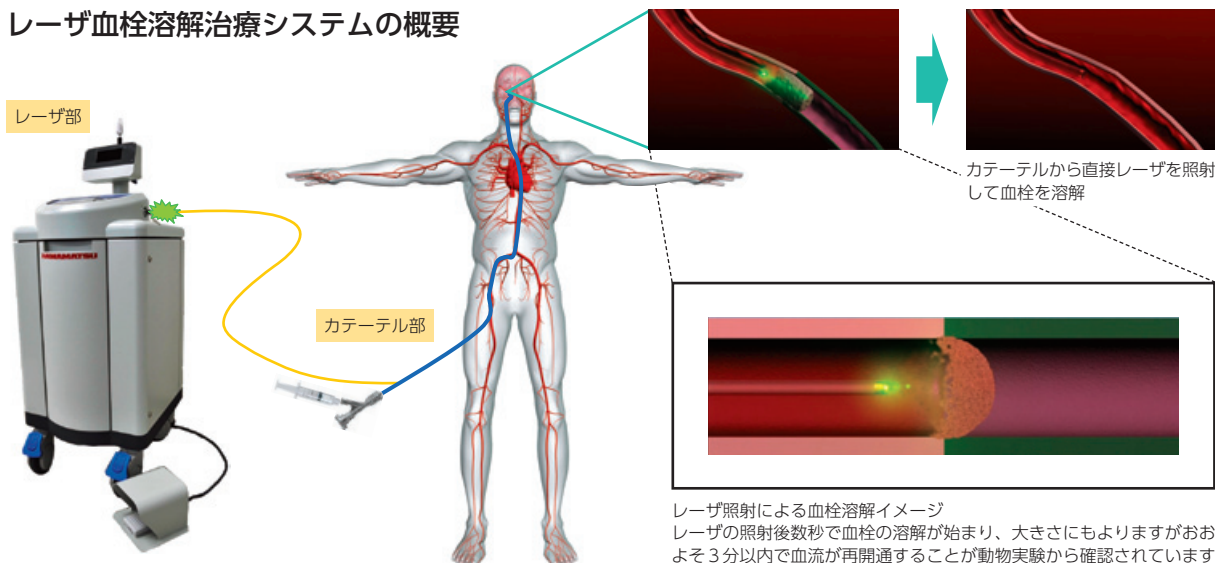
■ レーザによる血栓溶解技術の実用化に向けた取り組み

当社は、脳梗塞などの原因となる血栓をレーザーで溶解する技術「レーザー血栓溶解治療システム」^[1]を開発いたしました。

本システムは、光ファイバが内蔵されたマイクロカテーテルを患者の大腿部の血管から挿入し、目的とする脳血栓まで到達させ、レーザーを照射することにより血栓を溶解し、血流を再開通させるものです。本システムに用いているレーザーは、血栓だけを選択的に溶解できる波長に調整されているため、血管を傷つける危険性がないことがこれまでの動物実験で確認されており、従来の薬剤や機械的除去による方法に比べ、出血などの副作用のリスクを最小限に抑えることができます。

今後、浜松医科大学と共同で医師主導治験を開始し、人体における安全性と有効性を確認するとともに実用化を目指してまいります。

レーザー血栓溶解治療システムの概要



〔1〕 本研究の一部は国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」の支援によって行われました。

[開発分野]

■ 小型・高感度な紫外域用光電子増倍管アッセンブリ

近年、急速な工業化が進む新興国におきましては、主要汚染物質である重金属類の大気や河川等への排出による環境汚染が深刻な社会問題となっております。この重金属等の濃度測定の手法のひとつとして原子蛍光分析がありますが、現場での測定の要求も増えているため装置の小型化・可搬化が望まれております。この度、従来型装置に検出器として組み込まれている光電子増倍管（写真右）を大幅に小型化し、動作回路を一体化したアッセンブリを開発いたしました（写真左）。本製品は、小型な上に振動に強い構造を有しており、携帯可能な小型装置への組み込みを可能といたしました。さらに、原子蛍光分析に求められる紫外域に特化した感度特性を実現したことで、より微量な環境汚染物質の検出も可能となりました。



▲新開発した光電子増倍管アッセンブリ（左）と従来型光電子増倍管（右）

■ 近赤外領域に高い感度をもつ近赤外カメラ

当社は、近赤外光を用いた画像化に最適なInGaAs（インジウムガリウムヒ素）カメラを開発いたしました。950nm～1500nmの近赤外領域に感度をもち、従来品に比べ4倍の画素数をもつ高解像度光半導体素子を開発するとともに、冷却機能を内蔵したことで熱により生じるノイズを抑え、高安定で高品質な画像取得を可能といたしました。

近赤外光は、可視光より透過性に優れており、可視光では不可能であった対象の検査、測定が可能になります。

またX線と比べても、簡易に非破壊非接触での検査、測定が可能となります。

本製品は、半導体部品、電子部品の内部検査、食品、医薬品、農産物の検査をはじめとして、光通信等の研究用途、生体内非侵襲検査等、幅広い分野での応用が期待されます。



▲強冷却タイプ（左）と汎用タイプ（右）

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

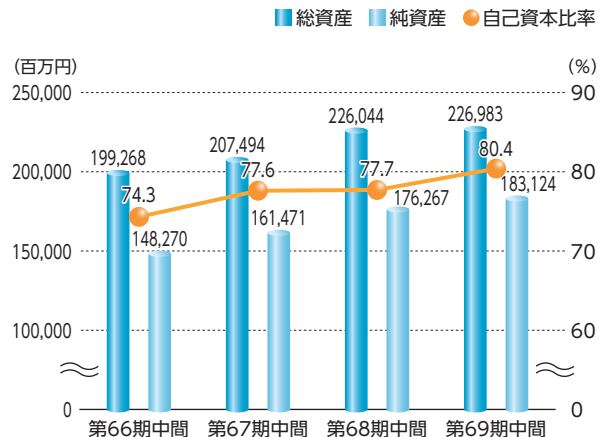
科 目	当中間期 (平成28年3月31日現在)	前中間期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成27年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	149,475	147,823	147,160
固定資産	77,507	78,220	79,019
有形固定資産	65,446	65,445	66,854
無形固定資産	1,633	1,762	1,766
投資その他の資産	10,427	11,012	10,398
資産合計	226,983	226,044	226,179
負債の部			
流動負債	34,546	35,353	35,833
固定負債	9,312	14,423	9,575
負債合計	43,858	49,776	45,409
純資産の部			
株主資本	179,001	169,866	174,179
資本金	34,928	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672	34,672
利益剰余金	115,459	106,316	110,637
自己株式	△6,059	△6,050	△6,059
その他の包括利益累計額	3,498	5,776	5,962
その他有価証券評価差額金	483	659	520
為替換算調整勘定	1,853	3,938	4,367
退職給付に係る調整累計額	1,160	1,178	1,074
非支配株主持分	624	624	629
純資産合計	183,124	176,267	180,770
負債純資産合計	226,983	226,044	226,179

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)	前中間期 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	前 期 (自 平成26年10月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	62,843	62,229	120,691
売上原価	30,967	29,196	57,582
売上総利益	31,875	33,032	63,109
販売費及び一般管理費	20,774	19,254	39,512
営業利益	11,101	13,777	23,596
営業外収益	430	918	1,287
営業外費用	341	113	224
経常利益	11,189	14,582	24,658
特別利益	153	63	706
特別損失	89	49	691
税金等調整前中間（当期）純利益	11,252	14,596	24,672
法人税等	3,343	4,708	8,038
中間（当期）純利益	7,909	9,888	16,634
非支配株主に帰属する中間（当期）純利益	26	26	35
親会社株主に帰属する中間（当期）純利益	7,882	9,861	16,598

■ 総資産／純資産／自己資本比率



● 会社の概況

設 立 昭和28年9月29日

資 本 金 34,928百万円

従 業 員 数 3,183名

主要営業品目 光電子増倍管、イメージ機器、光源、
光半導体素子、画像処理・計測装置

役 員

取 締 役 会 長	晝 馬 輝 夫
代 表 取 締 役 社 長	晝 馬 明
代 表 取 締 役 副 社 長	大 塚 治 司
代 表 取 締 役 専 務 取 締 役	山 本 晃 永
代 表 取 締 役 専 務 取 締 役	竹 内 純 一
常 務 取 締 役	飯 田 等
常 務 取 締 役	鈴 木 賢 次
常 務 取 締 役	武 村 光 隆
常 務 取 締 役	原 勉
常 務 取 締 役	吉 田 堅 司
取 締 役	嶋 津 忠 彦
取 締 役 (社 外)	伊 勢 清 貴
取 締 役	鳥 山 尚 史
取 締 役 (社 外)	小 館 香 椎 子
常 勤 監 査 役	森 和 彦
常 勤 監 査 役	水 島 廣
監 査 役 (社 外)	浜 川 雅 春
監 査 役 (社 外)	楨 祐 治

● 国内拠点

本 社 事 務 所
静岡県浜松市

工 場
本社工場／新貝工場／天王製作所／常光製作所／
都田製作所（いずれも浜松市）／豊岡製作所／
三^{みつ}家工場（いずれも磐田市）

支 店 ・ 営 業 所
東京支店・東京営業所／仙台営業所／筑波営業所／
中部営業所（浜松市）／大阪営業所／西日本営業所（福岡市）

研 究 所
中央研究所／産業開発研究所（いずれも浜松市）／筑波研究所

● 連結対象子会社

国 内
株式会社光素／高丘電子株式会社／浜松電子プレス株式会社／
株式会社磐田グランドホテル

海 外
米 国 ホトニクス・マネージメント・コーポ
ハママツ・コーポレーション
欧 州 ハママツ・ホトニクス・ドイチュラント・ゲー・エム・
ベー・ハー
ハママツ・ホトニクス・フランス・エス・ア・エール・
エル
ハママツ・ホトニクス・イタリア・エス・アール・エル
ハママツ・ホトニクス・ユー・ケイ・リミテッド
ハママツ・ホトニクス・ノルデン・エイ・ビー
ハママツ・ホトニクス・ヨーロッパ・ゲー・エム・
ベー・ハー

アジア 浜松光子学商貿（中国）有限公司
台湾浜松光子学有限公司
北京浜松光子技術股份有限公司
浜松光子学科学儀器（北京）有限公司
浜松光子医療科技（廊坊）有限公司

平成28年3月31日現在

● 株式事項

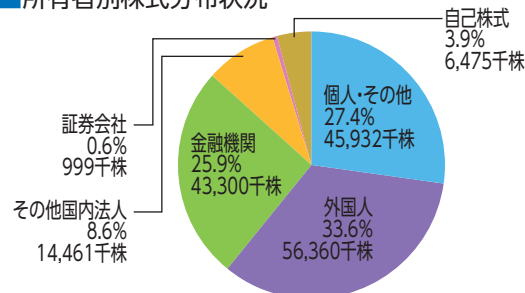
■発行済株式総数 167,529,968株

■株主数 30,126名

大株主	株式数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9,346,300株
トヨタ自動車株式会社	8,400,000株
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	7,032,847株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	6,955,900株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	5,853,800株
浜松ホトニクス従業員持株会	5,335,639株
晝馬輝夫	3,153,684株
野村信託銀行株式会社（投信口）	3,101,100株
ザ・チェースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンスペシャルアカウントナンバーワン	2,732,330株
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	2,196,606株

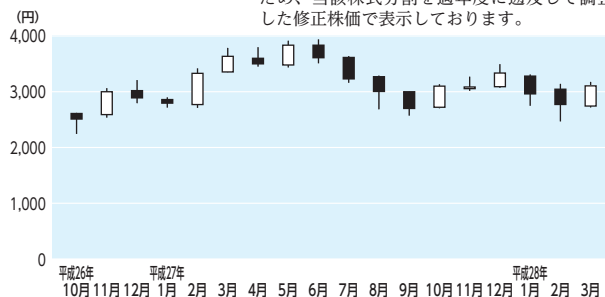
（注）上記のほか、自己株式6,475,070株があります。

■所有者別株式分布状況



■第69期中間配当金 1株につき 17円

● 株価の推移 ※ 平成27年4月1日をもちまして、1株につき2株の割合にて株式分割を行っております。そのため、当該株式分割を過年度に遡及して調整した修正株価で表示しております。



ウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、製品情報、製品サポート、展示会情報、研究開発、会社情報、株主・投資家情報などのほか、光に関する様々なコンテンツを提供しております。

また、「Photonてらす」では、身近な存在でありながら未知の部分が多い「光」の基本的な特徴や性質、光の特性を使ったテクノロジーや暮らしの中での活用例などを紹介しております。

TOPページ



<http://www.hamamatsu.com>

Photonてらす



<http://photonterrace.net>

●株式についてのご案内

株式に関する各種手続きのお申出先	
1. 証券会社に口座をお持ちの株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定等のお手続き	 お取引されている証券会社等 にお申出ください。
2. 未払配当金の支払い及び証券会社に口座をお持ちでないため特別口座が開設されました株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定等のお申出先	 三井住友信託銀行株式会社 0120-782-031 (通話料無料) (受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

●株主メモ

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 定時株主総会基準日	毎年12月 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 上記のお問い合わせ先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料) なお、取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店で行っております。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html

HAMAMATSU

PHOTON IS OUR BUSINESS

